



# 2021年3月期 第2四半期決算

---

2020年10月30日

JASDAQ: 6467

**株式会社 ニチダイ**  
NICHIDAI CORPORATION

<https://www.nichidai.jp/>

## 決算ハイライト

### 業績

- 売上高 5,099百万円(前期比 35.7%減)
- 経常利益 △273百万円(前期526百万円の利益)
- 親会社株主に帰属する  
四半期純利益 △208百万円(前期349百万円の利益)



### 背景

- 新型コロナウイルス感染症拡大により、自動車産業の稼働が停滞。ネットシェイプ事業、アッセンブリ事業の業績が低迷し、前年同期比で、減収減益。
- フィルタ事業に関しては、好調に推移。前年同期比で増収増益。
- 第2四半期に入り、自動車産業の緩やかな回復が見えてきている状況。

## 決算ハイライト

### 業績

■ 売上高	10,400百万円(前期比 29.6%減)	↓
■ 経常利益	△375百万円(前期7億4千3百万円の利益)	↓
■ 親会社株主に帰属する 当期純利益	△300百万円(前期4億7千7百万円の利益)	↓

### 背景

- 新型コロナウイルス感染症の収束時期は見通せず、世界経済の状況は依然不透明な状況。
- 第2四半期より自動車販売に関しては回復傾向にあり、下半期以降も回復していくことを想定。
- 特に、ネットシェイプ事業金型部門での需要回復を見込む。

- 今期の配当予想については、前回発表時点で、先の状況を見通せず通期業績予想を公表できていなかったことから、第2四半期の配当を見送り、期末配当予想を未定とさせていただいております。
- 今回公表した通期業績予想では、当期純損失を計上する見込みとなっておりますが、当社の配当の基本方針のもと、下半期以降の需要回復が見込める状況などを総合的に勘案した結果、期末配当予想を1株当たり4円とさせていただきます。

	第2四半期	期 末	年 間
	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	10.00	10.00	20.00
21年3月期 (予 想)	0.00	4.00	4.00

- 1) 事業紹介
- 2) 21/3期 上半期決算概要
- 3) 21/3期 通期見通し
- 4) 配当について
- 5) 中期経営戦略

## ネットシェイプ事業

高精度な自動車部品をつくる「金型」をトータルサポート



高精度・省資源・高強度

## アセンブリ事業

自動車の燃費向上・排ガス削減に役立つキーパーツを組立て



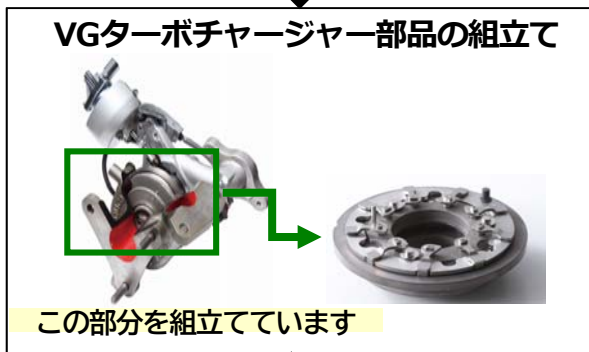
高品質・自動化・2極生産

## フィルタ事業

過酷な条件で使える金属フィルターを様々な産業に提供



高強度・耐熱・耐酸性



航空宇宙

食品

医薬品

- 1) 事業紹介
- 2) 21/3期 上半期決算概要**
- 3) 21/3期 通期見通し
- 4) 配当について
- 5) 中期経営戦略

## 2) 21/3期 上半期決算概要 -売上高・利益の状況-

単位:百万円

科 目	20年3月期 上半期実績	21年3月期 上半期実績	増減率	21年3月期 上半期計画
売上高	7,925	5,099	△35.7%	4,970
売上総利益	1,651	587	△64.4%	560
販売管理費	1,145	986	△13.9%	1,050
営業利益	505	△399	-	△490
営業外損益	△20	△125	-	△170
経常利益	526	△273	-	△320
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	349	△208	-	△240
為替レート	20年3月期 上半期実績	21年3月期 上半期実績		21年3月期 上半期計画
米ドル	110.11円	108.36円		108円
タイバーツ	3.48円	3.44円		3.4円

### 増減要因

■売上高の減少  
ネットシェイプ事業、アッセンブリ事業の停滞により、減少。

■売上総利益  
売上高減少に伴う減少。

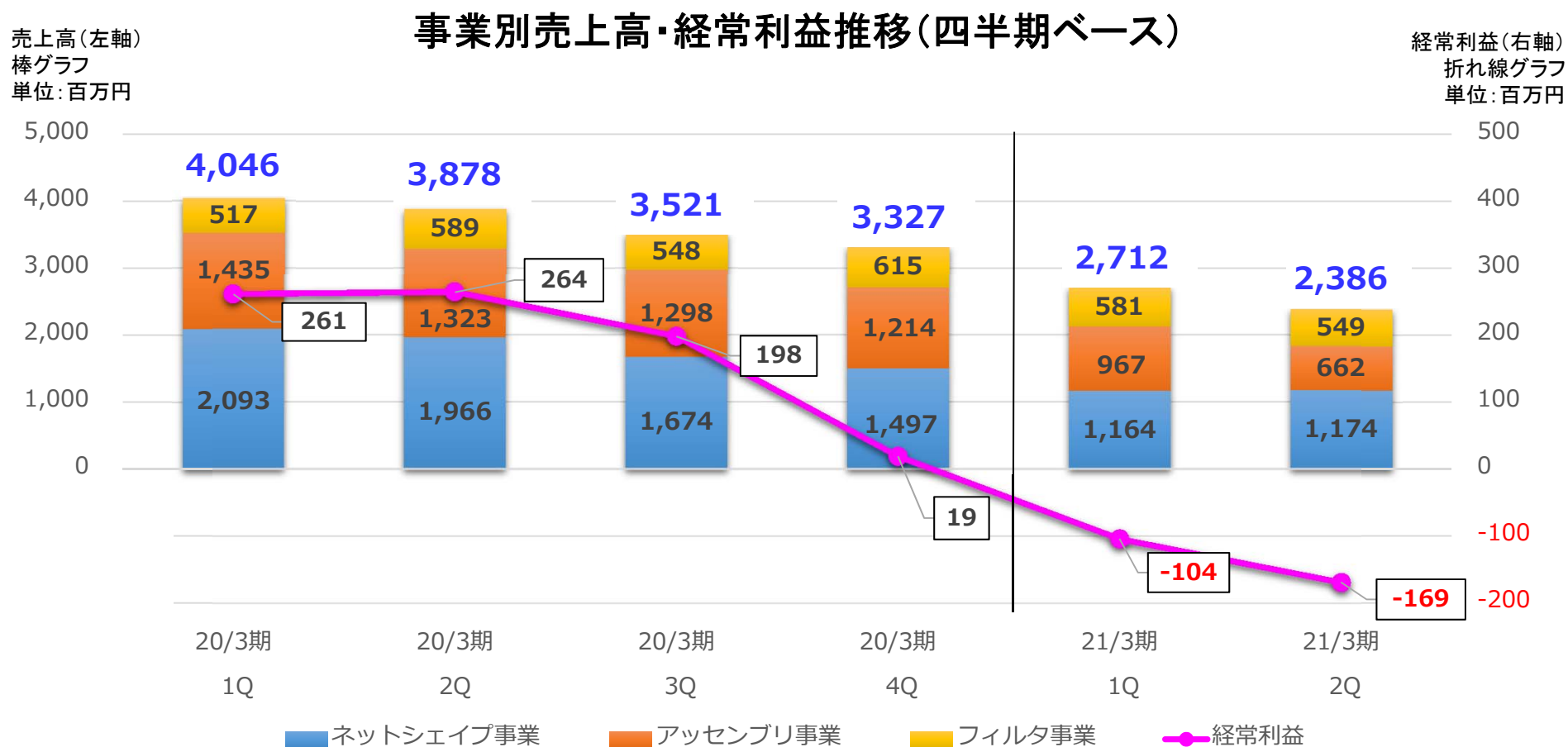
■販売管理費  
各種コスト抑制を実施。

■営業外損益  
助成金収入 132百万円  
為替差損 18百万円



## 2) 21/3期 上半期決算概要 -四半期別業績推移-

- ネットシェイプ事業、アッセンブリ事業の売上高が減少傾向。
- フィルタ事業の売上高は、前年並みで推移。
- 以上の売上高傾向により、1Q、2Qともに、経常損失を計上。



## 2) 21/3期 上半期決算概要 - ネットシェイプ事業の推移-

### 【売上高増減要因】

金型部門：自動車産業の停滞により、国内外とも売上高が低迷。

受注高に関しては、2Qに増加。

精密鍛造品部門：金型部門同様、国内外ともに、カーエアコン用スクロール鍛造品の売上高が停滞。

【経常利益増減要因】双方の部門の売上高低迷により、経常損失を計上。

《国内外別売上高・経常利益》 単位：百万円

	20/3 上半期実績	21/3 上半期実績	対前期 増減率
国内	2,693	1,470	△45.4%
海外	1,366	868	△36.4%
売上高計	4,059	2,338	△42.4%
経常利益 (経常利益率)	302	△308	—
	7.4%	△13.2%	—

《四半期別売上高推移》



\* 百万円未満切り捨て。

### 【売上高増減要因】

自動車産業停滞の影響を受け、ターボチャージャー部品の売上高が低迷。  
新型コロナウイルス感染症が、2Qの海外売上高に大きく影響を及ぼしている。

### 【経常利益増減要因】

売上高減少により、経常損失を計上。

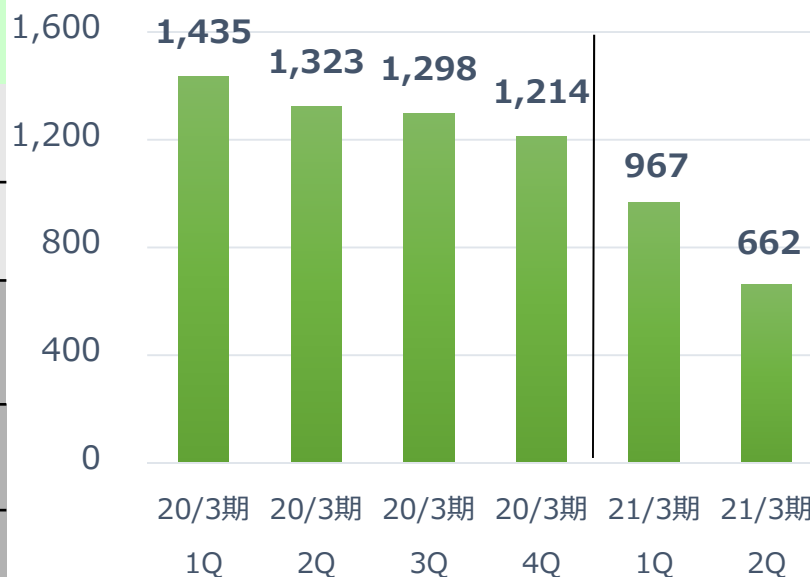
《国内外別売上高・経常利益》

単位：百万円

	20/3 上半期実績	21/3 上半期実績	対前期 増減率
国内	1,450	959	△33.9%
海外	1,308	670	△48.7%
売上高計	2,759	1,630	△40.9%
経常利益 (経常利益率)	84	△125	—
	3.0%	△7.7%	—

《四半期別売上高推移》

単位：百万円



\* 百万円未満切り捨て。

## 2) 21/3期 上半期決算概要 - フィルタ事業の推移 -

### 【売上高増減要因】

主力ユーザー向けが好調に推移したことにより、前年と同水準の売上高を維持。

### 【経常利益増減要因】

売上高の増加により、増益となる。

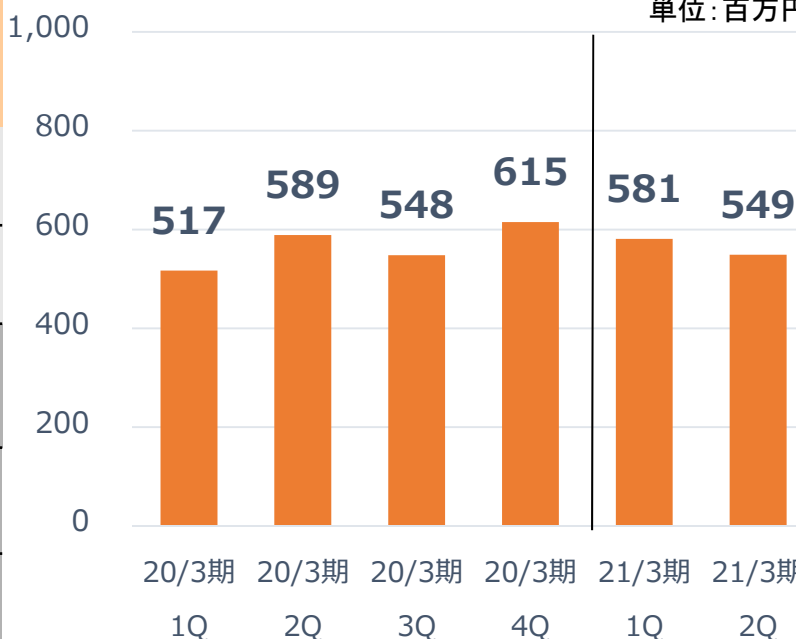
《国内外別売上高・経常利益》

単位：百万円

	20/3 上半期実績	21/3 上半期実績	対前期 増減率
国内	847	839	△0.9%
海外	259	290	12.2%
売上高計	1,106	1,130	2.2%
経常利益 (経常利益率)	139	159	14.1%
	12.6%	14.1%	—

《四半期別売上高推移》

単位：百万円



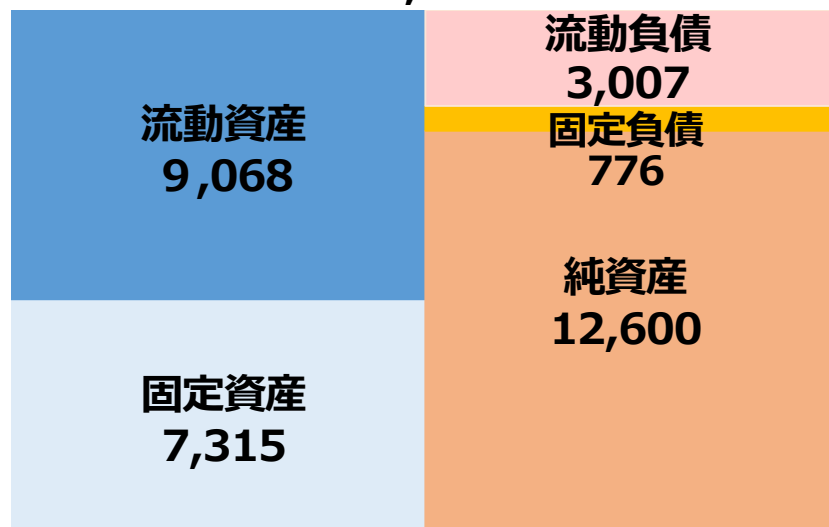
\* 百万円未満切り捨て。

### 連結貸借対照表

単位：百万円

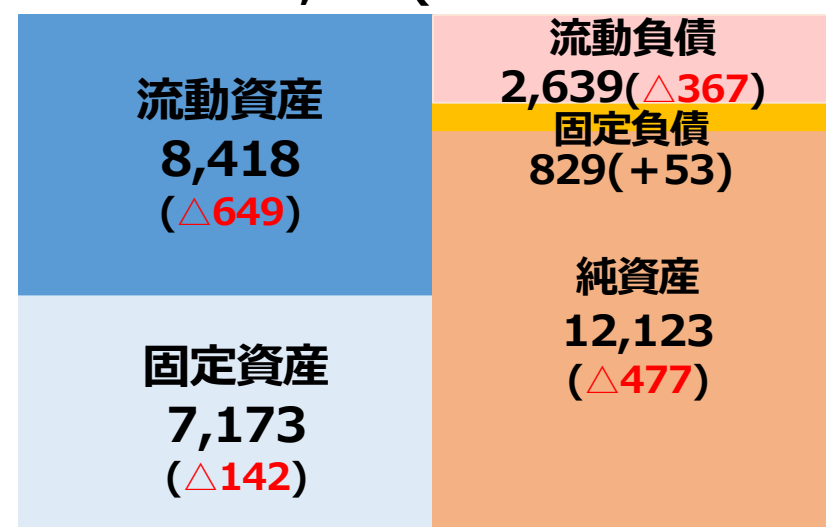
#### 20年3月期 期末

資産合計  
16,384



#### 21年3月期 2Q

資産合計  
15,592(△791)



\* 百万円未満切り捨て。

( )内の数値は、20/3との増減表記 + = 増加、△ = 減少

**流動資産**：売上債権の減少(△979百万円) 棚卸資産の増加(55百万円)

**流動負債**：買掛金の減少(△368百万円)

**借入金** 20年3月期 期末 1,503百万円      21年3月期 2Q 1,808百万円

## 2) 21/3期 上半期決算概要 - CFの状況-

単位:百万円




	20年3月期 上半期実績	21年3月期 上半期実績	増 減	増減要因
営業活動によるCF	1,500	486	△1,014	<b>■営業活動によるCF 減少額(△1,014百万円) の主な内訳</b>  税金等調整前当期純利益 △798百万円  前期 524百万円 当期 △274百万円  たな卸資産の増減額 △318百万円  前期 246百万円の減少 当期 71百万円の増加
投資活動によるCF	△399	△435	△36	
財務活動によるCF	△293	198	492	
現金及び現金同等物増減額	846	183	△662	
現金及び現金同等物の期首残高	2,689	3,367	678	
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,535	3,551	15	
FCF	1,101	50	△1,050	

- 1) 事業紹介
- 2) 21/3期 上半期決算概要
- 3) 21/3期 通期見通し**
- 4) 配当について
- 5) 中期経営戦略

### 【事業環境】

- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により停滞した自動車産業は、第2四半期を底に、徐々に回復傾向となる見込み。
- 新型コロナウイルス感染症の収束は見通せず、世界経済は依然不透明な状況が続く。

### 業績

■売上高	10,400百万円(前期比 29.6%減)	
■経常利益	△375百万円(前期7億4千3百万円の利益)	
■親会社株主に帰属する 当期純利益	△300百万円(前期4億7千7百万円の利益)	



### 3) 21/3期 通期見通し -事業別売上高の状況-

単位:百万円

	20年3月期 通期 実績	21年3月期 通期 計画	増減率	増減要因
ネットシェイプ	7,231	4,900	△32.2%	<p>■ ネットシェイプ事業 金型部門における、回復を見込む。精密鍛造品部門は、上半期と同水準となる見込み。</p>
アッセンブリ	5,272	3,240	△38.5%	<p>■ アッセンブリ事業 第2四半期を底に、段階的に売上高が回復する見込み。落ち込みが顕著だった海外売上高も、徐々に回復の見込み。</p>
フィルタ	2,270	2,260	△0.5%	<p>■ フィルタ事業 上半期の売上高を維持し、前年度と同等の売上高となる見込み。</p>
連結計	14,774	10,400	△29.6%	

### 3) 21/3期 通期見通し -売上高・利益の状況-

単位:百万円

	20年3月期 通期 実績	21年3月期 通期 計画	増減率	増減要因
売上高	14,774	10,400	△29.6%	<p>■売上高 ネットシェイプ事業、アッセンブリ事業は回復傾向となるものの、前年対比で減少となる。 フィルタ事業は、前年と同水準になる見込み。</p> <p>■経常利益 ネットシェイプ事業の金型部門の回復により、損失幅の減少を狙う。</p>
売上総利益	2,948	1,410	△52.2%	
販売管理費	2,235	1,990	△11.0%	
営業利益	712	△580	-	
営業外損益	△30	△205	-	
経常利益	743	△375	-	
親会社株主に帰属する 当期純利益	477	△300	-	
為替レート	20年3月期 通期 実績	21年3月期 通期 計画		
米ドル	109.55円	108円		
タイバーツ	3.63円	3.4円		

単位:百万円

	16/3 実績	17/3 実績	18/3 実績	19/3 実績	20/3 実績	21/3 計画
<b>設備投資額</b>	774	966	434	771	512	540
<b>減価償却費</b>	970	793	860	853	831	723

■ **主な投資案件:**

ニチダイタイランドにおけるスクロール鍛造品の生産ライン

- 1) 事業紹介
- 2) 21/3期 上半期決算概要
- 3) 21/3期 通期見通し
- 4) 配当について**
- 5) 中期経営戦略

当社は、株主の皆さまへの利益還元を経営の重要政策と位置づけ、将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続していくことを基本方針としております。

また、経営環境や業績動向、配当性向などの諸指標も考慮しながら配当額を決めております。

## 4) 配当について

	第2四半期	期 末	年 間
	円 銭	円 銭	円 銭
17年3月期	10.00	10.00	20.00
18年3月期	8.00	10.00 (普通配当8.00) (特別配当2.00)	18.00 (普通配当16.00) (特別配当2.00)
19年3月期	10.00	15.00 (普通配当10.00) (特別配当5.00)	25.00 (普通配当20.00) (特別配当5.00)
20年3月期	10.00	10.00	20.00
21年3月期 (予 想)	0.00	4.00	4.00

- 1) 事業紹介
- 2) 21/3期 上半期決算概要
- 3) 21/3期 通期見通し
- 4) 配当について
- 5) 中期経営戦略**

## 5) 中期経営戦略

2019年3月期以降、下記の挑戦、戦略をもとに、中期経営戦略を推進。

基本戦略

### 挑戦1 既存事業強靱化への挑戦

#### 他社の追随を許さない技術力の構築

- ニッチトップへの取組み
- シナジーを活用した独自技術の進化と構築

#### さらなるQDCの改善

- 各種KPIの達成
- 原価低減の着実な取組

### 挑戦2 次世代への挑戦

#### 海外事業のさらなる進化

- 海外比率拡大
- さらなる海外拠点の強化

#### 新規事業の立ち上げ

- 次世代自動車への対応
- 社内シーズの活用

人事・制度戦略

### 挑戦3 働きがいのある職場への挑戦

#### 自己実現を果たせる環境

- 挑戦を歓迎する仕組み
- 成長を描ける仕組み

#### 働きやすさの充実

- 働き方改革
- コミュニケーション改革



### 挑戦1 既存事業強靱化への挑戦

- 他社の追随を許さない  
技術力の構築
- さらなるQDCの改善

### 【上半期の取り組み】

- 国内受注の維持、拡大に対する施策  
WEBを活用した技術提案の強化
- 生産戦略の強化  
受注変動に対応した生産体制の構築

### 挑戦2 次世代への挑戦

- 海外事業のさらなる進化
- 新規事業の立ち上げ

#### 【上半期の取り組み】

##### ■ インド代理店での営業活動

今年2月に、インド販売代理店と提携。  
新型コロナウイルス感染症拡大により、訪問による  
営業活動ができないなか、アフターコロナに向けた  
動きを実施。

##### ■ ニチダイタイランドに新設備の導入 スクロール鍛造品の生産ライン

### 挑戦3

### 働きがいのある職場への 挑戦

- 自己実現を果たせる環境
- 働きやすさの充実

### 【上半期の取り組み】

#### ■ コロナ禍で考える体質強化

ITツールを活用した働き方改革

改善活動の取り組み

部署をまたいだ集团活動の取り組み

本日は、ありがとうございました。

# 株式会社 ニチダイ

## NICHIDAI CORPORATION

- ・ 本資料は、当社が現時点で入手可能な情報による判断、仮定等に基づいて作成しております。
- ・ 従いまして、様々な不確定要素が内在しており、結果的には実績が見通しと異なる場合があります。

IR窓口：経営企画室／紺野

Tel : 0774-62-3485

Fax : 0774-65-2301

E-mail : [konno@nichidai.co.jp](mailto:konno@nichidai.co.jp)

# 補足資料

## 21/3期 上半期決算補足資料 -売上原価-

単位:百万円

科 目	20年3月期 上半期実績	比 率	21年3月期 上半期実績	比 率
売上高	7,925	100.0%	5,099	100.0%
材料費	2,641	33.3%	1,629	31.9%
製品仕入	428	5.4%	280	5.5%
外注加工費	717	9.1%	492	9.7%
補助材料費	234	3.0%	174	3.4%
人件費	1,397	17.6%	1,236	24.2%
減価償却費	362	4.6%	331	6.5%
在庫増減	△125	△1.6%	△44	△0.9%
その他	367	4.6%	322	6.3%
売上原価	6,274	79.2%	4,512	88.5%
売上総利益	1,651	20.8%	587	11.5%

単位:百万円

科 目	20年3月期 上半期実績	比 率	21年3月期 上半期実績	比 率
売上高	7,925	100.0%	5,099	100.0%
荷造・運賃	96	1.2%	61	1.2%
旅費交通費	62	0.8%	20	0.4%
人件費	545	6.9%	535	10.5%
減価償却費	57	0.7%	54	1.1%
賃借料	30	0.4%	31	0.6%
その他	354	4.5%	281	5.5%
販売管理費	1,145	14.5%	986	19.3%